

基本目標Ⅱ-3 快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり



基本的な方向

- 公園や住宅、道路、上下水道等の生活基盤の整備の充実を図るとともに、都市機能が集積した中心市街地の活性化や生活拠点を中心とした魅力ある中山間地域の振興、生活交通の維持・確保など、快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくりを進めます。



数値目標

指標名	現状	目標
「日常生活環境」について満足している市民の割合	R6年度 32.8%	R11年度 36.0%
中心市街地における歩行者・自転車通行量	R6年度 17,629人	R12年度 21,300人
買い物環境確保率	R6年度 100%	R12年度 100%



重点施策

- ① コンパクトシティの推進
- ② 道路ネットワークの整備
- ③ まちなか居住の推進
- ④ 鳥取駅周辺のにぎわいの創出
- ⑤ 遊休不動産*を活用したまちづくりの推進
- ⑥ 魅力あるまちなかの推進
- ⑦ 安心して暮らし続けることのできる地域の維持
- ⑧ 魅力ある地域づくり・ひとづくりの推進
- ⑨ 交流による中山間地域の活性化
- ⑩ 持続可能な利便性の高い生活交通体系の構築
- ⑪ 鉄道の利用促進と利便性の向上
- ⑫ 鳥取砂丘コナン空港の利用促進と利便性の向上



主な取組

鳥取駅周辺をリ・デザイン！ 人が集い交流し魅力あふれる街 『鳥取OACIS』の創造

現在、鳥取駅周辺の再生に向けた取組を推進しています。交通やまちづくり分野の専門家をはじめ、関係団体等で構成する「鳥取駅周辺リ・デザイン会議」を設立し、協議を進めています。



鳥取駅北口広場再整備
デザインイメージ

公共交通のキャッシュレス化の推進

公共交通の利便性向上や利用促進を図るため、鉄道やバスなど公共交通機関におけるキャッシュレス決済の導入・普及を推進しています。交通事業者と連携しながら、誰もが使いやすい地域交通の実現を目指します。



路線バスでの交通系ICカード
利用の様子（降車タッチ）